

	<p>広島大学 医学系分野</p>
<p>学部・研究科名</p>	<p>医学部（第1年次：120） ※医学科を記載。 医歯薬保健学研究科（医歯薬保健学研究院）（M：12 D：67） ※ M：医歯科学専攻を記載。（医歯科学コースと医学物理士コースがあり、医学系分野と歯学系分野の集合であるが、内訳の区分けはない。） ※ D：医歯薬学専攻の入学定員 97 人のうち、 医学専門プログラム 60 人、放射線医科学専門プログラム 7 人を記載。 原爆放射線医科学研究所</p>
<p>沿革・設置目的</p>	<p>医学に関する教育・研究を行うことを目的に設置された広島県立医学専門学校、広島県立医科大学、広島医科大学を経て、昭和 28 年（1953 年）国立に移管され広島大学医学部として設置された。</p> <p>昭和 24 年（1949 年）（国立）広島大学設置 昭和 27 年（1952 年）（県立）広島医科大学設置 昭和 28 年（1953 年）<u>広島大学医学部設置（（県立）広島医科大学から移管）</u> 昭和 33 年（1958 年）医学部附属原子放射能基礎医学研究施設設置（平成 14 年（2002 年）に原爆放射線医科学研究所に改組） 昭和 34 年（1959 年）大学院医学研究科設置（平成 24 年（2012 年）医歯薬保健学研究院及び医歯薬保健学研究科に改組） 平成 16 年（2004 年）国立大学法人に移行 平成 22 年（2010 年）原爆放射線医科学研究所が共同利用・共同研究拠点に認定</p>
<p>強みや特色などの役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島大学の理念等に基づき、豊かな人間性を備え他の医療職種と協力し地域社会・国際社会に貢献できる医師や医学研究者等の養成を積極的に推進する。 ○ 原爆の惨禍からの復興を支えてきた大学として、放射線災害医療に関する国際拠点を形成し、低線量放射線を含めた放射線障害の基礎的な研究とその臨床応用を推進するとともに、分野横断の取組により、放射線災害からの復興の核として国際的に活躍できる人材を育成する。 ○ 緊急被ばく医療に係る細胞療法や、軟骨再生プロジェクト等の再生医

療、肝疾患研究や脳科学研究を始めとする、基礎医学、臨床医学の各領域における研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。

- 治験拠点医療機関としての取組実績を活かし、高度で実施に困難を伴う治験等の実施を推進し、日本の医療水準の向上及び日本発のイノベーション創出を目指す。
- 西日本ブロックの被ばく医療機関のネットワーク並びに中国・四国ブロックにおける唯一の小児がん拠点病院として小児がん診療の中心的役割を果たすとともに、県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や都道府県がん診療連携拠点病院、高度救命救急センター、地域周産期母子医療センター、第一種感染症指定医療機関等としての取組を通じて、広島県における地域医療の中核的役割を担う。